

平成29年度
 全国高等学校長協会家庭部会 食物科・調理科高等学校長会
 第31回総会・研究協議会並びに学科主任研究協議会
 石川大会実施要項

- 主催 全国高等学校長協会家庭部会 / 食物科・調理科高等学校長会
- 後援 文部科学省（申請中） / 石川県 / 石川県教育委員会 / 七尾市 / 七尾市教育委員会
 石川県高等学校長協会 / 石川県私立中学高等学校協会
 石川県高等学校長協会家庭部会 / 石川県産業教育振興会
 (公財)日本教育公務員弘済会石川支部
- 協力 株式会社 スギヨ
- 主管校 学校法人七尾鵬学園 鵬学園高等学校
- 趣旨 食物科・調理科等を置く高等学校の校長及び教員が集い、調理師養成などに係る教育の現状や課題について情報交換や研究協議を行い、その教育の更なる振興を図る。
- テーマ 世界農業遺産と「じわもん」 ～伝統的食文化の継承を担う調理師の養成～
- 期日 平成29年11月16日（木）、17日（金）
- 会場 和倉温泉 あえの風 他
 〒926-0175 石川県七尾市和倉町和歌崎8-1

■日程
 〈第一日目〉平成29年11月16日（木）（午前：理事会） 会場：和倉温泉 あえの風

9:30 10:00 11:30 12:30 13:00 13:40 13:50 14:40 14:50 15:30 15:40 17:00 17:30 18:00 20:00

9:30	10:00	11:30	12:30	13:00	13:40	13:50	14:40	14:50	15:30	15:40	17:00	17:30	18:00	20:00
受付	理事会		受付	開会行事	講演準備	記念講演	休憩	実践事例報告	移動・休憩	研究協議Ⅰ 分科会	休憩	受付	教育懇談会	

※記念講演講師 パティシエ 辻口 博啓

〈第二日目〉平成29年11月17日（金） 会場：(株)スギヨ、和倉温泉 あえの風

8:40 9:00 10:30 10:50 11:00 12:00 13:00 14:00 14:30

8:40	9:00	10:30	10:50	11:00	12:00	13:00	14:00	14:30
移動	施設見学 (スギヨ)	移動	休憩	研究協議Ⅱ 分科会報告 全体協議	昼食	指導講評 講演	閉会行事	

平成 29 年度全国高等学校長協会家庭部会

食物科・調理科高等学校長会

第 31 回総会・研究協議会並びに学科主任研究協議会

石川大会

大会参加要項

ならびに

参加申込書

期日 平成 29 年 11 月 16 日(木)～17 日(金)

会場 第 1 日目 和倉温泉 あへの風(全体会、教育懇談会)

第 2 日目 株式会社 スギヨ

和倉温泉 あへの風

主管校

学校法人 七尾鵬学園

鵬学園高等学校

〒926-0022

石川県七尾市天神川原町八三二

TEL 0767-53-2184

FAX 0767-53-2187

11月16日(木)

(1) 記念講演

演題 「日本から世界へ」
講師 パティシエ 辻口 博啓氏

(2) 実践事例報告

石川県内の高校生に実施した郷土料理についてのアンケート調査を基に、その分析結果を報告します。

また、県外の高校より郷土料理についての授業実践例を報告します。

(3) 研究協議 I

郷土料理と伝統料理継承への持続性ある取り組み、調理師法施行規則の施行における、会員各校のカリキュラム編成の対応状況や諸課題についての意見交換を行います。

(4) 教育懇談会

11月17日(金)

(1) 施設見学

株式会社 スギヨにて施設見学を行います。

(2) 研究協議 II

各分科会の報告と、会員各校から提出していただいたアンケート結果を基に情報交換を行います。

(3) 指導講評・記念講演

文部科学省初等中等教育局教育課程課
児童生徒課産業教育振興室 教科調査官 市毛 祐子 先生

[1] 参加費等

(1) 総会・研究協議会の参加費について

参加者: 5,000円 (内訳 参加費2,000円+資料代3,000円)

〔なお、会員校からお一人も参加されない場合、希望に応じて大会資料等を後日送付します。その際、資料代として3,000円を納金していただきます。〕

(2) 昼食について

日時: 11月17日(金) 12時00分～12時50分

場所: 和倉温泉 あへの風(波の花)

会費: お一人様 1,500円

(3) 教育懇談会について

日時: 11月16日(木) 18時～20時

会場: 和倉温泉 あへの風

会費: お一人様 8,000円(税込)

[2] 大会参加の申込方法と参加費の支払い方法

(1) 大会参加の申込方法について

- ① 別記ページ「参加申込書」に必要事項をご記入のうえ、7月21日(金)までに FAX または郵送にてお申込みください。

〔不参加の場合、「参加申込書」の基礎データ部分のみ記入のうえ、7月21日(金)までに、FAX または郵送にて連絡してください。〕

- ② 「参加申込書」には、参加費等の「払込金受領証」のコピーをつけてください。

〔不参加の場合で大会資料等送付を希望するときは、「参加申込書」に資料代3,000円の「払込金受領証」のコピーをつけてください。〕

- ③ 郵送の場合は、「参加申込書」のコピーを保管しておいてください。

郵送先

〒926-0022

石川県七尾市天神川原町^ハ32

鵬学園高等学校「食物科・調理科全国大会」事務局 宛

(2) 参加費・昼食代・教育懇談会費の払込方法について

- ① 必要経費は、下の振込先銀行口座に振込んでいただきますようお願いします。
- ② 振込手数料は、恐れ入りますが各自にてご負担ください。
- ③ 領収証は、「払込金受領証」で代えさせていただきます。ただし、参加費・昼食代・教育懇談会費についての領収証が必要な方は、大会当日会場受付でお受け取りください。その場合は、「参加申込書の通信欄」の領収書必要に○をしてください。

振込先銀行口座

銀行名: 北国銀行

店名: 七尾支店

店番号: 312

口座番号: 13201

口座名義: 家庭部会第31回大会 代表 鴻野 節子 (コウノ セツコ)

(3) 変更・取消について

- ① 電話での変更はトラブルの原因になりますので、必ず FAX にてご連絡くださいますようお願い申し上げます。
- ② 10月1日以降の取り消しにつきましては、参加費・昼食代・教育懇談会費のご返金はできません。

[3] 交通のご案内

(1) 第一日目 11月16日(木)

《電車をご利用の場合》

関東方面・関西方面すべての電車は金沢駅で乗換えとなります。金沢駅より和倉温泉行き
の電車をご利用下さい。

「和倉温泉駅」からは駅前の駐車場より加賀屋グループのバスに乗車下さい。

《乗用車をご利用の場合》

「のと里山海道」をご利用の方は徳田大津 JCT～和倉 IC で下車して下さい。

「能越自動車道」をご利用の方は七尾城山 IC で下車して下さい。

自家用車で来られる場合は、あへの風の前まで車でお越し下さい。係員が駐車場を案内します。

(2) 第二日目 11月17日(金)

施設見学への移動は主管校がバスを手配します。当日の朝、「和倉温泉 あへの風」正面
玄関にご集合ください。

[4] 宿泊のご案内 (JTB 金沢支店がお世話します)

後日発送されてきます宿泊案内を参照に宿泊申込をお願いします。

大変ご面倒ですが、宿泊費用と大会参加費等の払い込みが別になりますので、ご了承ください。

FAX : 0 7 6 7 - 5 3 - 2 1 8 7

申込み日:平成 29 年 月 日()

石川大会主管校:鵬学園高等学校 食物科・調理科全国大会 事務局 行

締切日:平成 29 年 9 月 25 日(月)

平成 29 年度 食物科・調理科高等学校長会 第 31 回総会・研究協議会並びに学科主任研究協議会 石川大会

参加申込書

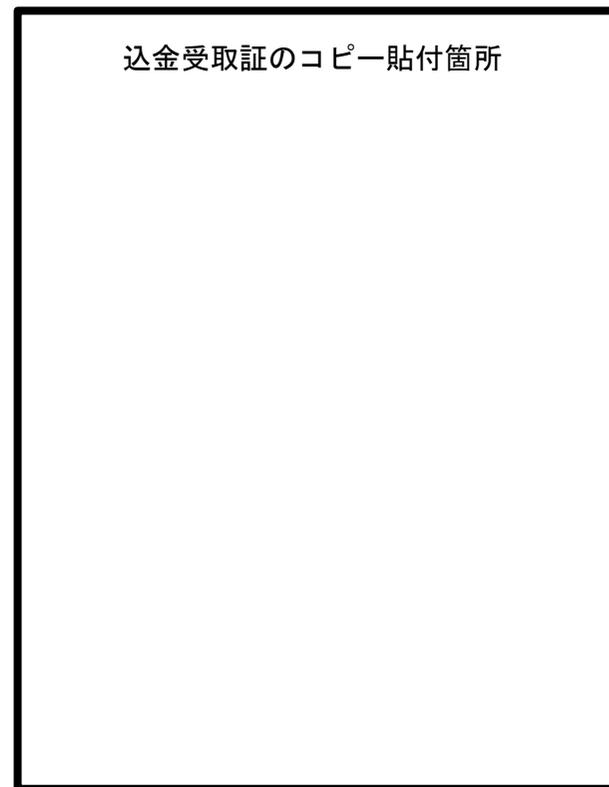
〈基礎データ〉不参加校も記入してください。不参加の場合も、大会資料の送付を希望するときは、3,000 円の「払込金受領証のコピー(縮小)」を貼付して FAX または郵送してください。

都道府県名		学校 連絡先	住所				
学校名	校			TEL		FAX	
記載責任者名				メールアドレス			

〈参加申込データ〉

ふりがな 氏名 (楷書でご記入下さい)	職名	性別	出席する部会等に○印			該当の払込項目に○印		
			理事会	全体会		参加費 5,000 円	昼食代 1,500 円	懇談会費 8,000 円
				11/16	11/17			
参加者合計人数	通信欄 ○印をつけてください。			払込合計金額				
名	領収証 (必要 ・ 不要)			円				
来県の際の交通手段	分科会参加希望調査			* 校長部会に参加の方は第 1 希望に校長部会と記入して下さい。それ以外の方は別紙の分科会協議題を参考に、 <u>必ず第 2 希望まで</u> を記入して下さい。				
該当に○印	第 1 希望	_____ 部会						
JR	飛行機	自家用車	第 2 希望					

払込金受取証のコピー貼付箇所



郷土料理・伝統料理の継承についての取り組みアンケート

* 各校での郷土料理・伝統料理の継承についての取り組みや、実践例などがありましたら記入して下さい。
(書式はどのような形でも構いません。記入例はあくまでも参考です)

背景（きっかけなど）	
実践・事例方法	
実践・事例の成果	
今後の課題と展望	

〈記入例〉

背景（きっかけなど）	食文化の授業で、生徒が自分の地域の郷土料理を知らないことに驚いた。食べたことはあってもそれが郷土料理であることの認識も薄い。そんな折、七尾市の食育推進委員会や地域の食生活改善委員の方から、企画の提案があり取り組んでみることにした。
実践・事例方法	食文化の授業の中で、委員の方から話を聞く。（1年生） 調理実習で実際に作ってみる。（1年生・3年生） 七尾市主催の郷土料理についての講演会に参加する。（希望者）
実践・事例の成果	本校は市内のみならず多くの地域から生徒が来ており、郷土料理や伝統料理もバラバラである。自分の地域だけでなく、他の地域の郷土料理を知ることができた。
今後の課題と展望	自分が知るだけではなく、知ったことを継承していくにはどうしたらよいか。地元の保育園・小学校・中学校等に出向き、食育の一環として継承活動をしていく事も必要ではないか。

県

高等学校

記入者名：

送付先：FAX 0767-53-2187 (Mail: cook2017@ohtori.ed.jp でも構いません)